

市民参加プロセス計画書：健康おかざき21計画（第3次）

Ｑ・そもそも、なぜこの計画又は事業が必要なのか？計画策定又は事業推進により解決したい課題は何か？

この計画は国の「健康日本21（第3次）」及び愛知県の「第3期健康日本21あいち計画」との整合性を持った計画であるとともに、本市の上位計画である「第7次岡崎市総合計画」のまちづくりの基本政策の1つである「健康で生きがいをもって活躍できる社会づくり（保健・医療・福祉）」を実現する行動計画でもあります。
本市が平成26年に策定した計画は令和4年度で終了しますが、国及び愛知県の計画を参考にするため、それらの計画公表に合わせ令和6年度まで延長することとし、令和7年度より施行を目指して計画策定を行います。

	実施時期（年月）	具体的な市民参加手法・実施場所・実施回数など	対象者（対象とした理由）	・提供する情報 ・聴取したい情報	目的（何についてどこまで合意形成したいか）
検討段階		上位計画である国の「健康日本21（第3次）」及び愛知県の「第3期健康日本21あいち計画」の方向性と「健康おかざき21計画（第2次）」策定時の数値と令和5年度時点の最終評価時の数値から、現状と課題を整理し策定することから、検討段階における市民参加の余地がほとんどありません。そのため、「健康おかざき21計画（第3次）」の概要・方向性について検討する構想段階から市民参加を実践することとします。			
構想段階	令和5年10月	アンケート調査	無作為抽出の市民（成人：5000人、中学3年生・高校3年生：各1000人）、乳幼児健診対象（4カ月、1歳6カ月、3歳児）の保護者：各1000人弱	・これまでの取組状況、意識についての実態及び要望	アンケート調査により実態を把握し、評価・分析を行い評価し、計画の方向性を決定する参考とする
	令和6年8月	健康おかざき21計画推進協議会	協議会委員（学識経験者、保健医療、地域活動等の関係団体及び市民公募による委員からの意見を聴取したいため）	・最終評価での現状と課題 ・計画の方向性について ・計画（素案）に対する意見について	本市の課題・特徴、計画の方向性及び計画（素案）について専門的な御意見をお聴きし、計画の方向性を確認する
	令和6年8月	オープンハウス（パネル展示）	イベント参加者及び会場をおとずれた全ての市民（子育て世代に対して要望や課題等の率直な意見をお聴きしたいため）	・これまでの取組、計画の現在 ・計画や事業への市民の関心、率直な意見	市民の率直な御意見、御要望をお聴きし、計画の方向性、重点事項、事業の展開についての参考とする
計画段階	令和6年9月	健康おかざき21計画推進協議会 作業部会	協議会委員（学識経験者、保健医療、地域活動等の関係団体及び市民公募による委員からの意見を聴取したいため）	・アンケート等による現状と課題 ・計画（素案）に対する意見	本市の課題・特徴、計画の方向性及び計画（素案）について専門的な御意見をお聴きし、計画の方向性を確認する
	令和6年11月	オープンハウス（パネル展示）	会場をおとずれた全ての市民（計画が浸透するために、どの世代にとっても分かりやすい計画であるか率直な意見をお聴きしたいため）	・計画の概要 ・計画や事業への市民の関心、率直な意見	市民の率直な御意見、御要望をお聴きし、計画の方向性、重点事項、事業の展開についての参考とする
	令和7年1月	パブリックコメント	全市民（パブリックコメントは誰からの意見も受け付けるため）	・計画（案）に対する意見	計画（案）の内容に対する合意を得る。
実施・運用段階					